

女には何も恐いことあらしまへん。

# おもちゃ

華やかな街の裏側、  
すべてを見て、  
すべてを受け入れて、  
それでもさなぎは蝶になる。

深作欣二監督作品  
原作・脚本/新藤兼人

(集英社文庫刊)

企画/佐藤雅夫  
平 哲夫  
深作欣二  
プロデューサー  
飯島 泉  
春日たかし  
小柳 聖子  
撮影/木村大作  
美術/西岡善信  
照明/安藤清人  
音楽/天野正道  
サウンドトラック/豊  
オリジナル  
(C)1987集英社

東映株式会社  
株式会社  
ライオンプロダクション  
提携作品



宮本 真希  
南 果歩  
喜多嶋 舞  
魏平直政  
六平 高史  
清水 紘治  
三谷 武昇  
加藤 武昇  
野川 由美子  
岡田 茉莉子  
津川 雅彦  
富司 純子

## 古都の花街、凛々しく生きる女たち。

ひとりの少女が、京都の芸者置屋に身を置いて、やがては舞妓になる晴れの日を待っていた。

京都に古くから続く花街——そこはお金で“性”の売り買いがなされる、俗に色街とも呼ばれてきた世界。今から四十年ほど前、最後の賑わいと華やぎを見せていた、この花街の置屋に生きるさまざまな女たち(女将、芸妓、舞妓)。みな一様に貧しい身の上でありながら、ひるむことなく、日々いきいきと輝いていた。

女将の里江(富司純子)は、長い芸妓生活ののち、置屋“藤乃家”を持った、色街生えぬぎの女。相当にしたたかで、しかも優しさと匂うばかりの色香も残している。

芸妓の照蝶、染丸、君竜は三人三様、奔放な色恋沙汰、金と男に明け暮れながらも、“男はんに騙される前に騙すんや!”と、キッチリ芸者嫁業の哲学を身につけているのは流石。時には男を取り合って、派手につかみ合いの喧嘩をするかと思えば、共通の敵に向かっては見事に一致団結したり、とにかく日々かましい。

## 女には怖いもんあらしまへん。

こうした女たちの間にあって、下働きをしながら、先輩たちの生きざまを見つめ、舞妓をめざす十七歳の少女・時子(宮本真希)は、本来ならまだ夢見る年頃の筈。しかし時子は、貧しい家族を支えるために、健気にも自分の境遇や将来をしっかりと見すえて、お金の取れる舞妓に、自ら進んでなっていく。

やがて時子は“おもちゃ”という名で舞妓としてデビューする日を迎える。自分が大人の女へと脱皮する瞬間。自分を待つ男の部屋に入っていく時子の表情には一点の陰りもなく、凛々しさだけが際だっているのだ。

逆境の中でこそ輝きを増す少女・時子と、その周囲の女たち。この映画は、知られざる花街世界の裏面に重ねて、これまでの日本映画には、ついで見られなかった、“凛々しい女たち”を活写した感動篇でもある。

時子、十七歳

凛々として女へ……



## 女性讃歌を、深作欣二監督の果敢な挑戦。

長年に亘り日本映画界の第一線で、その旺盛な制作活動と、鮮烈にして力感みなぎる作風で、一作一作多大な注目を集める深作欣二監督が、名匠・新藤兼人の名シナリオを暖めて三十年。念願の企画を四年ぶりの監督作品として、今回はプロデューサーも兼任。初の本格的な女性ドラマに挑戦している。

女たちの強靱な心と肉体、情感の濃さへの共感と讃歌——これは「蒲田行進曲」と「火宅の人」の深作欣二監督の最新作にして、'99年新春スクリーン公開の期待作である。

おもちゃ

深作欣二監督特集！連日2本立絶賛上映中(詳細は特集のチラシをご覧ください)

深作欣二監督話題の最新作「おもちゃ」2月21日(日)～26日(金)迄上映!

◆21日～23日併映「必殺4根みはらします」12:55/5:10 「おもちゃ」11:00/3:15/7:30

◆24日～26日併映「忠臣蔵外伝・四谷怪談」1:20/5:10 「おもちゃ」11:20/3:10/7:00

特別回数券5回券¥5000発売中! 当日一般¥1300/学生¥1100/シニア¥1000 最終回1本のみ¥700均一

★シネマ・ジャックに深作欣二監督が来る! 1月9日(日)「博徒外人部隊」の上映後12:30～深作監督による舞台挨拶あり!

京浜急行黄金町駅徒歩3分・横浜日劇前

シネマ・ジャック

フリーダイヤル 0120-198-009